

### 概要

## Data Protectorソフトウェア

異機種混在環境に対応したエンタープライズクラスのバックアップおよびリカバリソフトウェア

Data Protectorは、コアからエッジまでのデータ保護ソリューションであり、バックアッププロセスの標準化と統合を通じて、企業のバックアップ作業のコストを削減し、複雑さを軽減しながら、信頼性を高め、ビジネスの耐障害性を向上させます。Data Protectorバックアップソフトウェアは、さまざまな場所、アプリケーション、フォーマット、ストレージプラットフォーム、オペレーティングシステム、ハイパーバイザーに散在するデータの保護を標準化することで、今日のデータ主導型企業に必要なビジネスの信頼性を実現します。Micro Focus Adaptive Backup and Recovery Suiteのコンパニオン製品と組み合わせて使用することで、Data Protectorは、データ保護サイクルのすべての段階での環境の適合と最適化を可能にし、オペレーションとビジネスの目標達成を支援するソリューションとなります。

### 製品の主な特長

**標準化された保護:** 統一されたスケーラブルなアーキテクチャーにより、物理環境と仮想環境、さまざまなOS、コアデータセンターからリモートサイトまでのビジネスアプリケーションのすべてにわたる集中化された管理を実現します。

**アプリケーションと整合性のあるリカバリ:** 主要なビジネスアプリケーションとの統合により、バックアップ、自動化されたポイントインタイムリカバリ、個別データの復元機能がアプリケーション所有者に拡張され、アプリケーション所有者は自身の要件の管理、実施、サービスを行うことができます。

**高度な仮想サーバー保護:** ハイパーバイザーの統合とサポートにより、仮想マシン保護の継承、階層型リカバリオプション、プロセス自動化、分析、仮想環境の可視化を実現できます。

**ストレージ統合:** 圧縮、フェデレーション重複排除、ストレージ管理、分析の機能により、スケーラビリティとコスト効率を改善して、ITインフラストラクチャーの使用率向上を実現できます。

**ストレージ階層としてのクラウドの利用:** ネイティブ統合またはゲートウェイを通じて、スケーラブルでコスト効率の高い (成長に合わせて費用を支払う) 容量拡張を実現し、管理オーバーヘッドを減らしてITのアジリティを改善できます。

**自動化されたDR:** 物理から物理、物理から仮想、仮想から仮想、仮想から物理への集中化されたベアメタルリカバリを、任意のバックアップセットから、追加コストなしで実行できます。

**情報の保持:** さまざまなバックアップメディア、ストレージ階層、場所にわたる自動化された保持および複製管理により、コンプライアンスを維持し、効率的な長期データ保持が可能となります。

**Adaptive Backup and Recovery:** Backup Navigatorと組み合わせることで、データ保護サイクルの各段階でデータの管理と保護を行うアダプティブなアプローチの基盤となります。

### Data Protector 10.02の新機能

Micro Focus Data Protector 10.02リリースでは、利便性の向上とストレージおよびアプリケーションの機能強化が図られています。

- **利便性の向上** - ユーザーが時間および分単位でバックアップ周期を設定できるように新機能が追加されています。
- **ストレージの機能強化** - このリリースでは、Recovery Manager Central (RMC) 4.0および4.1のサポートが追加されています。
- **アプリケーションの機能強化** - MS Exchange 2016を使用しているお客様が、Exchangeソリューションのバックアップと復元をきめ細かく行えるようになっています。

## 概要

### Backup Navigator

Backup Navigatorは、対話型の使いやすい分析、レポート作成、および監視用アプリケーションです。ビジュアライゼーションとリアルタイムバックアップ分析を一体化することで、Data Protector環境に合わせてバックアップとリカバリの操作性を簡素化し最適化します。

- **インテリジェントダッシュボード** - 対話型のカスタマイズ可能なダッシュボードレポートで、バックアップおよびリカバリ処理に関する重要業績評価指標を確認できます。
- **リアルタイムの予測分析** - 日常の使用に基づいてバックアップおよびリカバリ処理の予測分析を行い、トレンド分析および予測アルゴリズムにより将来の性能と容量のギャップやニーズを把握します。
- **迅速な根本原因分析と問題解決** - リソースの競合やシステム上の問題をプロアクティブに検出して対処することで、サービス停止やデータ損失が発生してビジネスに悪影響が及ぶのを未然に防ぎます。
- **コラボレーションおよびクロスシステムサポート** - レポート作成プロセスを自動化し、組織内でのスケジュール設定や共有、または安全な形での分離とサービスを利用する外部の顧客への提供を可能にします。
- **柔軟なレポート作成** - オペレーター、組織、または顧客のニーズに合わせてレポートをカスタマイズし、レポートの内容に基づいて意思決定を行い、適切な措置を講じることができるようになります。
- **What-ifシナリオ評価** - 新規データセットの追加前にバックアップ/リカバリオペレーション (サービスレベル保証を達成できるかどうか、バックアップインフラストラクチャーへの影響、および既存のインフラストラクチャー内で新規データセットの要求に適切に対応する最適な方法) をインテリジェントに分析できます。

### Backup Navigator 9.80の新機能

- 最新バージョンであるData Protector 10.02のサポート
- WindowsシステムでのBackup Navigatorのインストールのサポート
- 定義済みのサマリーダッシュボードの導入  
StoreOnceおよびデータドメインに関する重複排除デバイスレポートの改善

### Data ProtectorとOperations Managerの統合

Micro Focus Data Protector Smart Plug-in for Micro Focus Operations Manager 9.0およびMicro Focus Data Protector Management Pack 9.0を利用すると、Micro Focus Data Protector環境でリアルタイムのインテリジェントな監視、分析、切り分け、修復、およびレポート作成ソリューションが利用できます。IT管理者は、バックアップインフラストラクチャーの各コンポーネントの健全性と状態を継続的に監視することで、常に最新の状況を把握できます。Micro Focus Data Protector Smart Plug-in for Micro Focus Operations Managerは、Micro Focus Operations Managerに対する拡張です。Micro Focus Data Protector Management Packは、Microsoft Systems Center Operations Manager用の拡張として提供されます。これらの製品には、以下の利点があります。

- **リアルタイムでの検出、ビジュアライゼーション、および利用分析** - 仮想インフラストラクチャーと物理インフラストラクチャーが混在する環境で、バックアップおよびリカバリの操作に影響を及ぼす問題のプロアクティブな監視、関連付け、および自動検出を行います。
- **迅速な診断とすぐに利用可能な分析** - データ保護の問題の本質的な根本原因をすばやく正確に特定することで、原因と影響を切り離し、バックアップインフラストラクチャーでの診断を大幅に迅速化して、すぐに利用できる情報を提供します。
- **状況依存の問題切り分けと修復支援機能** - 関連イベント、状況の継続、およびエスカレーションに関する設定可能なアラート機能により、ITスタッフはバックアップ/リカバリインフラストラクチャー内の重要な問題の最新状況を常に把握できます。また、修復支援機能も利用できます。
- **コラボレーションおよびクロスシステムサポート** - レポート作成プロセスを自動化し、組織内でのスケジュール設定や共有、または安全な形での分離とバックアップ/リカバリサービスを利用する外部の顧客への提供を可能にします。
- **柔軟なビジュアライゼーションとレポート作成** - インテリジェントな分析情報をグラフィカルに表示し、IT管理者のニーズに合わせてカスタマイズできます。これにより、使用状況を改善し、使用されていないコンポーネントを見つけてワークロードを適切に配分し、サービスレベル保証を引き続き達成できるかどうかを見極め、プロアクティブな判断を行って最適なアクションを講じるのに必要な正確な情報を可視化することができます。
- **バックアップおよびリカバリ操作の管理と制御** - Data Protectorのバックアップおよびリカバリテクノロジースタック (バックアップターゲット/セル/Cell Manager/バックアップエージェント間) の状況に応じたオーケストレーションと、それぞれで実行されるアクションの制御により、明確に定義され、完全に最適化されたデータ保護を実現します。

## 概要

Data Protector Management Pack 10.0の新規バージョンが提供されており、Data Protector 10.0およびセルクラスター環境のサポートが追加されています。また、このリリースでは、Microsoft Systems Center Operations Manager (SCOM) 2016のサポートも提供されます。

## ライセンス、サービス、および保証

配布メディア                      ダウンロード (電子メディア)

### ドキュメント

Data Protectorソフトウェアのマニュアルは、PDF形式で提供されます。Windowsで英語版ドキュメント(ガイド、ヘルプ)コンポーネントを選択するか、UNIXでOB2-DOCSコンポーネントを選択して、Data Protectorソフトウェアのセットアップ時にPDFファイルをインストールします。インストールしたマニュアルは、`<Data_Protector_home>\docs`ディレクトリ (Windows) または `/opt/omni/doc/C/`ディレクトリ (UNIX) に格納されます。Data Protectorソフトウェアのサポート一覧は、上記の場所のsupport\_matricesサブディレクトリ内にあります。PDF形式のマニュアルは、<http://softwaresupport.softwaregrp.com>からも入手できます。

また、Data Protectorソフトウェアでは、WindowsおよびUNIXの各プラットフォームで、ヘルプトピックおよび状況依存型 (F1) ヘルプが利用できます。Data Protectorをインストールしていない場合でも、インストールメディアからヘルプにアクセスできます。

- DP\_help.chmを開く (Windows)
- 圧縮されたtarファイルDP\_help.tar.gzをアンパックし、DP\_help.htmを使用してヘルプシステムにアクセスする (UNIX)

Acrobat Readerソフトウェアの最新版は、<http://www.adobe.com>から入手できます。

### ドキュメント

Micro Focus Data Protectorのドキュメントセットは、以下のガイドで構成されています。

#### Micro Focus Data Protectorスタートアップガイド

このガイドには、Data Protectorの基本機能の概要説明と、Data Protectorの利用を始める際に役立つ情報が記載されています。

#### Micro Focus Data Protectorコンセプトガイド

このガイドでは、Data Protectorのコンセプトと、Data Protectorの動作原理について説明しています。これは、タスク指向のオンラインヘルプとともに使用するよう作成されています。

#### Micro Focus Data Protectorインストールおよびライセンスガイド

このガイドでは、お使いの環境のオペレーティングシステムとアーキテクチャーに応じた、Data Protectorソフトウェアのインストール方法を説明します。また、Data Protectorのアップグレード方法と、環境に応じた適切なライセンスの取得方法も説明します。

#### Micro Focus Data Protectorトラブルシューティングガイド

このガイドでは、Data Protectorの使用時に発生する可能性がある問題をトラブルシューティングする方法について説明します。

#### Micro Focus Data Protectorディザスタリカバリガイド

このガイドでは、ディザスタリカバリのプランニング、準備、テスト、および実行の方法について説明します。

## ライセンス、サービス、および保証

### Micro Focus Data Protector Integration Guide for Microsoft Volume Shadow Copy Service

このガイドでは、MicrosoftボリュームシャドウコピーサービスとData Protectorとの統合について説明します。また、アプリケーションライターの詳細も記載されています。

### Micro Focus Data Protector Zero Downtime Backup Concepts Guide

このガイドでは、Data Protectorゼロダウンタイムバックアップおよびインスタントリカバリのコンセプトと、ゼロダウンタイムバックアップ環境でのData Protectorの動作原理について説明します。このガイドは、タスク指向の『Micro Focus Data Protectorゼロダウンタイムバックアップ管理者ガイド』および『Micro Focus Data Protector Zero Downtime Backup Integration Guide』と合わせて使用するよう作成されています。

### Micro Focus Data Protector Zero Downtime Backup Administrator's Guide

このガイドでは、Micro Focus P6000 EVAディスクアレイファミリ、Micro Focus P9000 XPディスクアレイファミリ、Micro Focus P4000 SANソリューション、NetApp、EMC Symmetrix Remote Data FacilityおよびEMC TimeFinderとData Protectorとの統合の構成および使用方法について説明します。このガイドは、バックアップ管理者やオペレーターを対象としています。ファイルシステムとディスクイメージのゼロダウンタイムバックアップ、インスタントリカバリ、および復元について説明します。

### Micro Focus Data Protector Zero Downtime Backup Integration Guide

このガイドでは、Oracle Server、SAP R/3、Microsoft Exchange Server、およびMicrosoft SQL Serverの各データベースで、ゼロダウンタイムバックアップ、インスタントリカバリ、および標準的な復元を実行するためのData Protectorの構成方法と使用方法について説明します。

### Micro Focus Data Protectorインテグレーションガイド

このガイドでは、以下の構成方法と使用方法について説明します。

- IBM Informix Server用統合ソフトウェア、IBM DB2 UDB用統合ソフトウェア、およびIBM Lotus Notes/Domino Server用統合ソフトウェア。
- Microsoft SQL Server用統合ソフトウェア、Microsoft SQL Server 2007/2010/2013用統合ソフトウェア、Microsoft SharePoint Server VSSベースソリューション、Microsoft Exchange Server 2007用統合ソフトウェア、Microsoft Exchange Server 2010用統合ソフトウェア、およびMicrosoft Exchange Single Mailbox用統合ソフトウェア。
- Oracle Server用統合ソフトウェア、SAP R/3用統合ソフトウェア、SAP MaxDB用統合ソフトウェア、およびSAP HANA Appliance用統合ソフトウェア。
- Sybase Server用統合ソフトウェア、Network Data Management Protocol Server用統合ソフトウェア、およびNetApp SnapManager用統合ソフトウェア。
- VMware - 仮想環境統合ソフトウェアおよびMicrosoft Hyper-V - 仮想環境統合ソフトウェア。
- PostgreSQL用統合ソフトウェア

### Micro Focus Data Protector製品案内、ソフトウェアノート、およびリファレンス

このガイドでは、Micro Focus Data Protectorソフトウェアの最新リリースの新機能について説明しています。また、インストール要件、必要なパッチ、制限事項、報告されている問題とその回避方法などの情報も記載しています。

## ライセンス、サービス、および保証

### Micro Focus Data Protector Command Line Interface Reference

このガイドでは、Data Protectorのコマンドラインインターフェイス、コマンドオプション、およびそれらの使用方法を説明し、基本的なコマンドラインの例を示します。

### サポート一覧

サポートされるアプリケーションプラットフォーム、ハードウェア、オペレーティングシステムの一覧については、次のURLに記載されているData Protectorサポート一覧を参照してください。

<https://softwaresupport.softwaregrp.com/>

### ソフトウェアライセンス

**注:** Data Protector 8.10以降では、新しいライセンスキーパスワードが発行されます。古いパスワード (8.10より前のバージョンのDPで発行されたパスワード) はすべて無効になり、Micro Focus Data Protector 8.10では認識されません。新たに購入したライセンスの場合、パスワードの要求時に製品バージョン (7.00以前または8.10) を選択する必要があります。Micro Focus Data Protector 8.10用に生成されたパスワードは、以前のバージョンのData Protectorでは使用できません。Data Protectorの既存のお客様は、お使いのライセンスパスワードをアップグレードできるライセンスの数量と種類をカバーした有効なサポート契約を締結している必要があります。

Micro Focus Data Protectorは、次の2つのライセンス方式をサポートしています。

- 機能とバックアップターゲットに基づいた従来のライセンス - Micro Focus Data Protectorソフトウェアのすべてのバージョンで使用可能
- 容量ベースのライセンス - Micro Focus Data Protector 7.01以上で使用可能

### 従来のライセンス

Data Protectorでは、基本的に3種類のバックアップターゲット (スナップショット、ディスク、テープ) がサポートされます。ターゲットは組み合わせて使用することも可能で、使用するターゲットに応じて、いずれかのターゲットまたはすべてのターゲットをライセンスします。また、複数のターゲットを並行して使用して、バックアップのパフォーマンスを制御することもできます。製品構成はモジュール式になっているため、さまざまな構成で柔軟に使用できます。お使いの環境の要件に最適なData Protectorソフトウェアの機能が利用できるライセンスをご注文いただけます。

Data Protectorソフトウェアの製品構成およびライセンスは、次の3つの主要なカテゴリで構成されています。

- スターターバック: 管理サーバー (Cell Manager) が、HP-UX、Windows、およびLinuxでサポートされます。
- 以下のバックアップターゲット:
  - テープドライブライセンス (ドライブ使用権という)
  - アドバンストバックアップ (容量でライセンスされる)
  - ゼロダウンタイムバックアップ (容量でライセンスされる)
- Data Protector機能拡張: 機能拡張ライセンスは、データベースおよびアプリケーションのオンラインバックアップ、Manager-of-Managers機能、メディアスロット数が60を超えるライブラリ、暗号化、インスタントリカバリ、NDMP、Granular Recovery Extensionの場合、インスタンス (システム、ライブラリ、およびテラバイト) ごとに1つ必要になります。スターターバック、ドライブ使用権、ライブラリ使用権のパスワードはCell Managerにバインドされており、Data Protectorセル全体で使用できます。クライアントに、ファイルシステムまたはディスクイメージバックアップ用のライセンスは必要ありません。機能拡張カテゴリのライセンスは、ライセンスの種類に応じて、保護対象のクライアントのみ、またはセル全体に適用されます。

**注:** UNIX用の製品ライセンスは、UNIX、Windows、およびLinuxプラットフォームで使用でき、すべてのプラットフォームでその機能が提供されます。一方、Windows用の製品ライセンスは、WindowsおよびLinuxプラットフォームでのみ使用できます。パスワードはCell Managerにバインドされ、Data Protectorセル全体で使用できます。クライアントに、ファイルシステムまたはディスクイメージバックアップ用のライセンスは必要ありません。

## ライセンス、サービス、および保証

### 容量ベースのライセンス

Data Protectorの容量ベースのライセンス (CBL) の製品構成は、Micro Focus Data Protectorによって保護されるプライマリデータのボリュームに基づいています。容量の測定単位は、"フロントエンドテラバイト"(フロントエンドTB) です。フロントエンドテラバイトの合計数は、すべてのシステムからバックアップされるソースデータの総データ量として定義されます。システムごとに最大容量のフルバックアップとして測定されます。すなわち、バックアップされるソースデータの総データ量です。この製品構成のライセンスは恒久的で、既存または新規のインフラストラクチャーとアプリケーションをカバーしています。詳細については、このドキュメントの「Micro Focus Data Protectorの容量ベースのライセンス」のセクションを参照してください。

Data Protectorの容量ベースのライセンスには、以下の機能が含まれています。

- Cell ManagerおよびManager of Managers
- テープドライブおよびライブラリ
- オンラインバックアップおよびGranular Recovery Extension
- HPアレイおよび非HPアレイ用のゼロタイムバックアップおよびインスタントリカバリ
- ディスクへのアドバンスドバックアップおよびNDMP
- Extended Online Backup

Data Protectorの容量ベースのライセンス (CBL) の製品構成に加えて、Adaptive Backup and Recovery (ABR) Suite Premium Editionという新しいライセンスが導入されました。

ABR Suite Premium Editionには、Data Protectorの容量ベースのライセンスとBackup Navigatorの容量ベースのライセンスが含まれています。

次の補完製品は、別途購入することもできます。

- ソフトウェア暗号化
- Micro Focus Backup Navigator
- Data Protector Management Pack
- Data Protector Smart Plug-in for Micro Focus Operations Manager
- Micro Focus Storage Optimizer

**注:** 従来の製品構成と容量ベースの製品構成は同じカスタマーが使用できますが、これらのモデルを同じCell ManagerまたはMoM環境で組み合わせて使用することはできません。上記の補完製品は例外で、Data Protectorの従来のライセンスと容量ベースの両方のライセンス方法でこれらのライセンスを組み合わせることができます。従来の製品構成から容量ベースの製品構成への移行がサポートされています。詳細については、認定されたMicro Focus販売担当者までお問い合わせください。両方のライセンスモデルは、環境の規模に関係なく使用できます。

## ライセンス、サービス、および保証

### Micro Focus

#### ソフトウェアサポート

#### Micro Focusファウンデーションケア24x7サービス

Micro Focusファウンデーションケア24x7では、Micro Focusが24時間365日体制でお客様の問題解決をサポートします (ハードウェアのオンサイト対応は受付後4時間以内、ソフトウェアの電話対応は受付後2時間以内)。ハードウェアまたはソフトウェアに関する問題は、最初にMicro Focusまでお問い合わせください。この製品のすべてのファウンデーションケアサービスにはコラボレーション型サポートが含まれているため、Microsoft Server、Red Hat Linux、VMwareなどのソフトウェアに関するトラブルシューティング支援を受けることができます。Micro Focus Care Packサービスでは、3年間のサポート契約を推奨しています。

**注:** サポートはソフトウェアライセンスにバンドルされていないため、別途注文する必要があります。最低1年のサポート契約を含まない注文は、受け付けられません。

これらのサポートの詳細については、次のURLを参照してください。 <https://software.microfocus.com/ja-jp/services/customer-technical-support-services>

#### Micro Focusサービス: スケーラビリティ、 柔軟性、および信頼性

Micro Focusクイックスタートサービスを利用すると、お客様はITインフラストラクチャーの展開をすばやく確実に行い、安定した運用に向けてITスタッフとプロセスを整備することができます。これらのサービスは、Micro Focusの仕様に沿って製品およびソリューションを展開する、明確に定義されたスケーラブルなサービス契約です。クイックスタートサービスを利用することで、導入を確実に成功させ、テクニカルスタッフの生産性を改善し、ITリソースを主要タスクやビジネス上の優先事項に集中的に投入できます。

詳細については、Micro Focusの販売担当者または認定ビジネスパートナーまでお問い合わせください。

#### Micro Focus Education

Micro Focus Educationは定評のある教育部門で、つねに最高の学習機会を提供できるように取り組んでいます。世界各地の経験豊富なトレーナーと各分野の専門家がチームとなり、インフラストラクチャー技術、エンタープライズ検索、eDiscovery、コンテンツ管理、カスタマーインタラクション、ビジネスプロセス管理、レコード管理、eCommerceなどの幅広い分野で優れたトレーニングコースを提供しています。

Micro Focus Educationが提供しているトレーニング (コースの詳細など) については、以下のリンクを参照してください。

<https://software.microfocus.com/en-us/services/enterprise-software-education-services>

## 構成情報

### 従来のライセンス

すべてのUNIX使用権 (LTU) は、Microsoft Windows、Linuxシステムで使用できます (該当する場合)。

#### 手順1 - スターターパック

製品名		説明	製品番号
Micro Focus Data Protector スターターパック		ライセンスのみ	
	E-Delivery	HP-UX用	B6951BAE
	E-Delivery	Windows用	B6961BAE
	E-Delivery	Linux用	B6961CAE

**注:** 最新の機能とローカリゼーションが利用できるように、必ず最新のパッチを適用してください。パッチは次のサイトから入手できます。 <https://softwaresupport.softwaregrp.com>

スターターパックライセンスは、Data Protectorバックアップ環境の基盤になるもので、すべてのインストールが必要になります。スターターパックライセンスには、次の使用権 (LTU) が付属します。

- 指定のプラットフォーム上で稼働する管理サーバー1台 (Cell Manager)
- 任意のプラットフォーム上で稼働する無制限のバックアップクライアント (エージェント)
- 1つのドライブライセンス (B6951xxにはB6953AAEが1つ含まれ、B6961xxにはB6963AAEが1つ含まれます)
- 内蔵メディア管理
- 最大60スロットのライブラリ
- システムディザスタリカバリオプション
- 高機能レポート (Data Protector GUIとWeb経由)

## 構成情報

追加ドライブや追加機能には、それぞれライセンスが必要になります。UNIXスターターパックライセンスは、WindowsおよびLinuxスターターパックの代わりとしても使用できます。

### 手順2 - ドライブ使用权とライブライリ使用权

Micro Focus Data Protector バックアップドライブ	説明	製品番号
E-Delivery	UNIX、NAS、SAN用	B6953AAE
Micro Focus Data Protector バックアップドライブ	説明	製品番号
E-Delivery	Windows、NetWare、Linux (Intel) 用	B6963AAE

#### SAN、UNIX、NAS用:

ドライブ1台 (UNIX、OpenVMSシステム、NASデバイスと直接接続、またはSAN内で使用) の使用权 (LTU) が付属します。

ドライブは、テープドライブ、ファイルデバイス、光磁気ドライブのいずれかです。

どのような場合でも、操作 (フォーマット、バックアップ、メディアとオブジェクトのコピー、メディアとオブジェクトの検証、オブジェクトのミラー化、スキャン、ディザスタリカバリなど) に使用しているドライブと同数のライセンスが必要になります。すべてのドライブを同時に使用できるようにするには、構成されているドライブと同数のライセンスが必要です。たとえば、オブジェクトコピー操作では、ソースおよびターゲットバックアップデバイスを含めた、使用するすべてのデバイスにライセンスが必要です。復元にはライセンスは必要ありません。

- ドライブライセンスは、複数のセル間で共有できません。
- このライセンスは、Windows、NetWare、およびLinux用ライセンスの代わりとしても使用できます。ただし、SANでドライブを使用しない場合、B6963AAEを使用する方が料金は低くなります。
- このライセンスは、NDMPで管理するNASシステム (Network Appliance FilerやEMC Celerra File Serverなど) や、Data Protector Proprietary Device Server (Media Agent) を必要とするNASシステム (HPE NAS 8000) で必要になります。Windows、NetWare、標準Linux環境で稼働するNASシステムは、標準Data Protector Device Server (Media Agent) を実行でき、Windows、NetWare、Linux用のData Protectorドライブ使用权 (B6963AAE) のみが必要になります。

#### Windows、NetWare、Linux用:

Windows、NetWare、Linux (Intel) システムのダイレクトアタッチドドライブ1台の使用权 (LTU) が付属します。ドライブは、テープドライブ、ファイルデバイス、光磁気ドライブのいずれかです。

どのような場合でも、操作 (フォーマット、バックアップ、メディアとオブジェクトのコピー、メディアとオブジェクトの検証、オブジェクトのミラー化、スキャン、ディザスタリカバリなど) に使用しているドライブと同数のライセンスが必要になります。すべてのドライブを同時に使用できるようにするには、構成されているドライブと同数のライセンスが必要です。たとえば、オブジェクトコピー操作では、ソースおよびターゲットバックアップデバイスを含めた、使用するすべてのデバイスにライセンスが必要です。復元にはライセンスは必要ありません。

- ドライブライセンスは、複数のセル間で共有できません。
- 複数のシステムがSAN内のドライブにアクセスする場合、UNIX、NAS、SAN向けのドライブ使用权 (B6953AAE) が必要です。ファイバチャネルのポイントツーポイント接続は、SANとみなされません。
- このライセンスは、Windows、NetWare、Linuxで稼働するNASデバイスに接続されているドライブに適用され、標準Data Protector Device Server (Media Agent) を実行できます。

サポート対象ドライブは、以下のリンクのData Protectorサポート一覧表を参照してください。

<https://softwaresupport.softwaregrp.com/group/softwaresupport/support-matrices>

## 構成情報

Micro Focus Data Protector	説明	製品番号
ライブラリ使用権	E-Delivery	<b>E-Delivery</b> B6957BAE
	E-Delivery	B6958BAE
	E-Delivery	B6958CAE

単一のData Protectorセル内で使用可能な物理スロット数を搭載するテーブライブラリを管理するための使用権 (LTU) が付属します。ライブラリごとに1つ必要になります。

- DASでACSLsおよびGRAU/EMASSライブラリシステムを使用するSTKスロットでは、無制限のスロットライセンスが必要です。
- このライセンスは、論理スロット数ではなく、ライブラリ内の物理スロット数が基準になります。たとえば、Data Protectorでは、物理スロット数が120のライブラリを、論理スロット数が60の2つのライブラリに分割できます。その場合も、61-250スロットライブラリ使用権が1つ必要になります。
- 仮想パーティションの作成機能を持つライブラリでも、物理ライブラリで使用可能な物理スロット数に応じてライセンスが必要になります。
- 複数のセルでライブラリを共有する場合、セルごとにManager-of-Managers LTUが必要です。これにより、単一のライセンスですべてのセルのライブラリ使用が許諾されます。共有しない場合は、セルごとにライセンスが1つ必要です。
- サポート対象ライブラリは、以下のリンクのData Protectorサポート一覧を参照してください。  
<https://softwaresupport.softwaregrp.com>

## 手順3 - 機能使用権

Micro Focus Data Protector	説明	製品番号
オンラインバックアップ使用権	E-Delivery	<b>E-Delivery</b> B6955BAE
	E-Delivery	B6965BAE

特定のプラットフォームで稼働するデータベースとアプリケーションのオンラインバックアップを実行する使用権 (LTU) が付属します。サーバーごとに必要であり、システム上で稼働するデータベースの数には関係しません。1つのシステム上で異なるタイプのデータベースを稼働している場合も、必要なライセンス数は1つのみです。一般的に、オンライン状態でアプリケーションデータ保護を行うシステムごとに、Data ProtectorオンラインバックアップLTUが必要になります。

- システムで複数のパーティションを実行する場合、パーティションごとにLTUが必要になります。
- クラスター環境では、クラスター内のシステムごとにLTUが必要です。
- Oracle RAC (Real Application Cluster) の場合、アプリケーションエージェントがインストールされているクラスターノードごとに、オンラインバックアップLTUが必要です。
- オンラインバックアップLTUは、アプリケーション保護にゼロダウンタイムバックアップを使用する場合にも必要になります。
- Windowsファイルシステムのスナップショット機能VSS (Volume Shadow Copy Service) を使ったオープンファイルのバックアップとリストアでは、オンラインバックアップLTUは必要ありません。ただし、オペレーティングシステムに付属しないデータベースのオンラインバックアップには、このオンラインバックアップ使用権が必要になります。システム構成バックアップには、オンラインバックアップLTUは不要です。
- MS Exchangeシングルメールボックスバックアップには必要です。
- Data Protectorでは、Oracle DataGuardスタンバイデータベースが構成されたノードごとにこのライセンスが必要になります。
- Micro Focus Network Node Managerのオンラインバックアップには必要ありません。
- HPE Systems Insight Managerのオンラインバックアップには必要ありません。
- サポート対象データベースは、以下のリンクのData Protectorサポート一覧を参照してください。  
<https://softwaresupport.softwaregrp.com>

## 構成情報

### 仮想環境でのオンラインバックアップライセンス

- vStorage API for Data Protection (VADP) を使用した、VMware ESXi環境のバックアップには、ESXiサーバーごとにWindowsまたはLinuxのオンラインバックアップLTUが1つ必要です。  
**注: VCBホスト、vCenter Server、およびVMware vCloud Director用統合ソフトウェアは、ESXホストごとのライセンスでカバーされるため、別途ライセンスは必要ありません。**
- Microsoft Hyper-V環境では、物理Hyper-Vサーバー1台あたりWindows/LinuxライセンスのオンラインバックアップLTUが1つ必要です。
- 仮想環境では、同じライセンス要件がアレイアシストスナップショットにも適用されます。詳細については、ZDBとIRのライセンスの説明を参照してください。
- 仮想マシン上にDPのアプリケーションエージェントを入れて、アプリケーション/データベースのオンラインバックアップを行う場合には、仮想マシンあたりライセンスが1つ必要です。以前のスクリプトベースのソリューションは、追加ライセンスなしで引き続き使用できます。ただし、これらのスクリプトはMicro Focusでサポートされないため、Data Protector 6.1以降のバージョンでは、お客様自身でスクリプトのメンテナンスを行う必要があります。

### Microsoft SharePoint向けオンラインバックアップライセンス

- SharePoint環境では、コンテンツデータベースやインデックスサーバーなど、永続的データを格納する物理システムまたは仮想システムごとにオンラインバックアップLTUが必要になります。

#### Micro Focus Data Protector Granular Recovery Extension

	説明	製品番号
E-Delivery	1サーバー用	TB737AAE

Data Protectorオンラインバックアップ搭載の単一サーバーで行ったバックアップから単一アイテムを復元するライセンスが付属します (この場合は、DPオンラインバックアップLTUが必要です)。

アイテムをGREで復元する際のターゲットサーバーごとにGREライセンスが1つ必要です。GREライセンスはそのサーバーに1年間固定され、その後は別のサーバーで使用できます。

### Microsoft SharePoint用Granular Recovery Extensionライセンス

- SharePoint環境では、単一のドキュメント、ディレクトリ、サイト全体の復元でソースとなるコンテンツデータベースを含む物理サーバーまたは仮想サーバーごとに、Granular Recovery Extensionが1つ必要です。

### VMware用Granular Recovery Extensionライセンス

- VMwareでは、GREを使ったバックアップで仮想マシン (VM) をホストし、ファイルを復元するESXiサーバーごとに、Granular Recovery Extension (GRE) ライセンスが1つ必要です。

Granular Recoveryで使用可能なバックアップを実行するシステムごとに、DPオンラインバックアップLTUも1つ必要です。

### Exchange用Granular Recovery Extensionライセンス

Microsoft Exchange 2010用Granular Recovery Extension (GRE) では、バックアップの必要な1つ以上のデータベースをホストするExchangeサーバーごとにGREライセンスが1つ必要です。

## 構成情報

Micro Focus Data Protector	説明	製品番号
暗号化使用権	E-Delivery 1サーバー/ワークステーション用	BB618AAE
	E-Delivery 10サーバー/ワークステーション用	BB618BAE

Micro Focus Data Protector AES 256ビット暗号化ソフトウェアを搭載するMicro Focus Data Protectorクライアントサーバーまたはワークステーション1台あるいは10台の全バックアップデータを暗号化する使用権 (LTU) およびメディアが付属します。暗号化が設定されているMicro Focus Data Protectorクライアント (エージェント/アプリケーションエージェント) ごとにライセンスが1つ必要です。

- テープドライブベースの暗号化は無償で提供され、ライセンスは必要ありません。
- クラスター環境では、クラスター内のシステムごとにLTUが必要です。

Micro Focus Data Protector Manager-of-Managers	説明	製品番号
使用権	E-Delivery UNIX用	B6956AAE
	E-Delivery Windows用	B6966AAE

特定プラットフォームで稼働し、Manager-of-Managers環境に含まれるData Protector管理サーバー (Cell Manager) ごとに使用権 (LTU) が付属します。

- 複数のData Protectorセルでテープライブラリを共有する場合に必要になります。
- Cell Managerライセンスに追加で必要になります。
- ブランチオフィスの一元的なバックアップ管理に最適なソリューションです。
- B6956AAE (Unix MoM) は、必要に応じて、Windowsの管理サーバー (Cell Manager) でも使用できます。

Micro Focus Data Protector	説明	製品番号
アドバンストバックアップ使用権	E-Delivery 1 TB用	<b>E-Delivery</b> B7038AAE
	E-Delivery 10 TB用	B7038BAE
	E-Delivery 100 TB用	B7038CAE

- 1TB、10TBあるいは100TB分のバックアップディスクストレージの使用権 (LTU) が含まれています。このライセンスは、バックアップディスクストレージで利用可能なネイティブ容量 (TB) ごとに必要です。「アドバンストバックアップ」ライセンスは、Data Protectorのファイルライブラリへのバックアップ、およびData Protectorのデバイスの種類として「ディスクへのバックアップ」を使用するときに必要です。仮想テープライブラリへのバックアップを行うドライブライセンスの代わりに使用することもできます。
- Micro Focus Data Protectorの「ディスクへのバックアップ」の使用可能なネイティブ容量は、すべてのMicro Focus Data Protectorの保護バックアップにより使用される「ディスクへのバックアップ」のディスクのサイズです。これには、Data Protector StoreOnceソフトウェアストア、StoreOnce Catalyst、Data Domain Boost、Smart Cache、およびクラウドが含まれます。
- 自動複製同期では、ソースリポジトリはソースCell Managerに対してのみライセンスし、ターゲットリポジトリはターゲットCell Managerに対してのみライセンスする必要があります。
- Micro Focus HelionクラウドへのVMwareオブジェクトコピー機能 (Data Protector 9.01バージョン) では、ディスクへのクラウドバックアップタイプに含まれる容量はアドバンストバックアップライセンスの容量には加算されません。
- Micro Focus Data Protectorファイルライブラリの使用可能なネイティブ容量は、そのファイルライブラリで使用可能なディスクのサイズです。このサイズは、ファイルシステムにより報告されます。
  - Micro Focus Data Protectorの合成フルバックアップおよび仮想フルバックアップ: 合成/仮想フルバックアップに統合される仮想フルバックアップおよび増分バックアップは、このライセンスを必要とするMicro Focus Data Protectorファイルライブラリに保存する必要があります。

## 構成情報

仮想テープライブラリ (VTL) の使用可能なネイティブ容量は、すべてのMicro Focus Data Protectorの保護バックアップにより使用される仮想テープライブラリのディスクのサイズです。このサイズは、VTLにより報告されます。

- VTLごとに、ディスクへのバックアップまたはテープドライブへのバックアップのどちらのライセンスモデルを使用するかを選択できます。1つのVTL内では、両方の概念を混在させることはできません。
- デフォルトで、Micro Focus Data Protectorは、VTLデバイスを通常のライブラリ (SCSI IIライブラリなど) として扱います。アドバンストバックアップ使用権を使用するには、構成時にデバイスをVTLとしてマークする必要があります。詳細については、オンラインヘルプのキーワード「仮想テープライブラリ」を参照してください。
- バックアップデータを安価なディスクまたはテープに移行する機能がVTLに組み込まれている場合は、移行されるストレージ容量も完全にライセンスする必要があります。VTLのみによって制御されるテープライブラリにはドライブライセンスおよびライブラリライセンスは必要ありませんが、物理テープライブラリ内のすべてのテープの使用容量はライセンスする必要があります。場合によっては、テープドライブのライセンスモデル (B6953AAEおよびB6963AAE) を使用する方がコスト効果が高くなります。この要件は、Micro Focus Data Protectorのオブジェクトコピーを使用してバックアップデータを別のディスクまたはテープに移行する場合には当てはまりません。
  - VLSの自動移行用のライセンス - 自動移行はData ProtectorのVLSメディアコピー機能で、データを移行することでVLSデバイス上の追加容量を解放できます。そのため、移行されるデータ用のライセンスが必要で、移行に使用されるメディアの容量をVLSの合計ディスク容量に追加する必要があります。場合によっては、上記のように、ドライブライセンスに完全に切り替えた方がコスト効果が高くなります。
  - VTL複製用のライセンス: 複製セットアップでData Protectorがソースデバイスとターゲットデバイスの管理をアクティブに行う場合、両方のデバイスのライセンスが必要です。Data Protectorがターゲットデバイスの管理をアクティブに行わない場合は、ソースデバイスのライセンスのみが必要です。これには、複製として扱われるVLSエコーコピー機能も含まれます。
- Micro Focus Data ProtectorでVTLのみを使用している場合は、VTLの容量と同量のライセンスが必要です。Micro Focusでは、このVTLの物理容量を「使用可能なネイティブ容量」と呼んでいます。他のベンダーは、これを「Raw容量」と呼んでいます。
- Micro Focusでは、2008年7月1日より前に購入したアドバンストバックアップ使用権について、お客様の投資が確実に保護されることを保証しています。つまり、このライセンスは、「VTLの使用可能なネイティブ容量は、Data Protector内部データベースに準じて、保護されたバックアップおよび保護されたバックアップコピーとバックアップミラーによって占有される容量です。仮想テープライブラリライセンスが常にシンプルでストレスフリーなものになるように、VTLでは追加料金なしで2:1の圧縮率を想定しています」という以前のライセンス条項に基づいてVTLに使用できます。従来のモデルを使用することに意味があるのは、圧縮または重複排除技術を使用しない場合に限られることに注意してください。それ以外の場合は、新しいライセンスモデルの方が有利です。
- このディスクのサイズによるライセンスというコンセプトでは、圧縮率や重複排除率を考慮する必要はありません。また、RAID構成についても考慮する必要はありません。
- StoreOnce Recovery Manager Central (RMC) ゼロダウンタイムバックアップ (ZDB) のStoreOnce Catalystへの「ディスク+ Express Protect」コピーの場合、3PARから直接行われるExpress Protectコピーにはアドバンストバックアップ使用権は必要ありません。
- 1 TB = 1024 GB、1 GB = 1024 MB、1 MB = 1024 KB、1 KB = 1024バイトです。
- MoMでライセンスを集中管理する場合は、アドバンストバックアップ機能を使用し、最低でも1TBを各セルに割り当てる必要があります。ただし、Cell Managerごとの個別のライセンスは必要ありません。

### Micro Focus Data Protector ゼロダウンタイム バックアップ (ZDB) 使用権

	説明	製品番号
E-Delivery	UNIX用 (1 TB)	B7025CAE
E-Delivery	UNIX用 (10 TB)	B7025DAE
E-Delivery	Linux用 (1 TB)	TD588AAE
E-Delivery	Linux用 (10 TB)	TD589AAE
E-Delivery	Windows用 (1 TB)	TD590AAE
E-Delivery	Windows用 (10 TB)	TD591AAE

## 構成情報

Data Protectorでサポートされるディスクアレイのスナップショット機能を使用してUNIX、Linux、Windowsベースのバックアップを行う場合、「プライマリディスクの使用容量」1TBあるいは10TB分の使用権 (LTU) が付属します。

「プライマリディスクの使用容量」は、UNIX、Linux、Windowsシステムで使用するディスクアレイ上の全プライマリディスクの合計容量です。プライマリディスクにはアプリケーションデータが格納され、Data Protectorで保護されます。

WindowsでのZDBの場合:

- VSSディスクアレイハードウェアプロバイダー経由、または
- Data Protectorディスクアレイネイティブエージェント経由

プライマリディスクの合計容量は、これらのディスクの実際の使用可能な合計容量を表し、アプリケーションデータの合計サイズには依存しません。Data Protectorでは、データ保護に使用されるセカンダリボリューム、ミラー、スナップショットにより使用される容量のライセンスは必要ありません。

使用される容量は、RAIDオーバーヘッドが除外されている点で、raw容量とは異なります。つまり、RAID設定を考慮する必要はありません。

UNIXまたはLinux用のZDB使用権は、LinuxおよびWindowsシステムにも使用できることに注意してください。

VMwareのゼロダウンタイムバックアップ保護の場合は、UNIXまたはLinux用のZDB使用権が必要です。

StoreOnce Recovery Manager Central (RMC) とのゼロダウンタイムバックアップ統合では、RMCとの統合を使用する場合に、プライマリディスクの使用容量に対してゼロダウンタイムバックアップ使用権は必要ありません。オンライン使用権などのその他のライセンス要件は引き続き適用されます。

**注:** ZDBを使用してすべてのアプリケーションを保護するには、Data ProtectorオンラインバックアップLTU (B6955BAE、B6965BAE) がシステムごとに追加が必要になります。

サポート対象アプリケーションは、以下のリンクのData Protectorサポート一覧を参照してください。

<https://softwaresupport.softwaregrp.com>

Micro Focus Data Protector インスタントリカバリ 使用権	説明	製品番号
E-Delivery	UNIX用 (1 TB)	B7028AAE
E-Delivery	UNIX用 (10 TB)	B7028DAE
E-Delivery	Linux用 (1 TB)	TD592AAE
E-Delivery	Linux用 (10 TB)	TD593AAE
E-Delivery	Windows用 (1 TB)	TD594AAE
E-Delivery	Windows用 (10 TB)	TD595AAE

Data Protectorでサポートされるディスクアレイのスナップショット機能を使用してUNIX、Linux、Windowsベースのリカバリを行う場合、「プライマリディスクの使用容量」1TBあるいは10TB分の使用権 (LTU) が付属します。

「プライマリディスクの使用容量」は、UNIX、Linux、Windowsシステムで使用するディスクアレイ上の全プライマリディスクの合計容量です。プライマリディスクにはアプリケーションデータが格納され、Data Protectorで保護されます。

WindowsでのIRの場合:

- VSSディスクアレイハードウェアプロバイダー経由、または

## 構成情報

- Data Protectorディスクアレイネイティブエージェント経由

プライマリディスクの合計容量は、これらのディスクの実際の使用可能な合計容量を表し、アプリケーションデータの合計サイズには依存しません。Data Protectorでは、データ保護に使用されるセカンダリボリューム、ミラー、スナップショットにより使用される容量のライセンスは必要ありません。

使用される容量は、RAIDオーバーヘッドが除外されている点で、raw容量とは異なります。つまり、RAID設定を考慮する必要はありません。

インスタントリカバリ使用権は、スナップショット操作でのVMwareのVADPアレイスナップショット保持または復旧には必要ありません。

UNIX用のIR使用権は、LinuxおよびWindowsシステムにも使用できることに注意してください。

**注:** ゼロダウンタイムバックアップの同等のライセンスが必要です。

NDMPによる Micro Focus Data Protector ダイレクトバックアップ	説明	製品番号
E-Delivery	NDMPダイレクトバックアップ、1 TB LTU	B7022BAE
E-Delivery	NDMPダイレクトバックアップ、10 TB LTU	B7022DAE
E-Delivery	NDMPダイレクトバックアップ、100 TB LTU	TD186AAE

1台のNDMPサーバーのバックアップ容量1 TB、10 TB、または100 TB分の使用権 (LTU) が付属します。NDMP (Network Appliance FilerまたはEMC Celerra File Servers) でバックアップするファイルサーバー1台あたり、使用ディスク容量1TBごとにライセンスが必要になります。

- 使用ディスク容量は、NDMPでバックアップされるファイルサーバーのすべてのボリュームの合計容量です。この容量は、これらのボリュームの使用可能な合計容量で、それぞれで構成されたLDEVサイズと一致します。

非HPEアレイ用の ゼロダウンタイム バックアップ使用権	説明 LTUのみ	製品番号
E-Delivery	DP ZDB non Micro Focus Array UX 1 TB SW E-LTU	H7P92AAE
E-Delivery	DP ZDB non Micro Focus Array UX 10 TB SW E-LTU	H7P93AAE
E-Delivery	DP ZDB non Micro Focus Array Lin 1 TB SW E-LTU	H7P94AAE
E-Delivery	DP ZDB non Micro Focus Array Lin 10 TB SW E-LTU	H7P95AAE
E-Delivery	DP ZDB non Micro Focus Array Win 1 TB SW E-LTU	H7P96AAE
E-Delivery	DP ZDB non Micro Focus Array Win 10 TB SW E-LTU	H7P97AAE

拡張オンライン バックアップ 使用権	説明 LTUのみ	製品番号
E-Delivery	Micro Focus DP Extended Online backup for Win/Lin E-LTU	H7U62AAE

特定のプラットフォームで稼働するMySQLおよびPostgreSQLデータベースとアプリケーションのオンラインバックアップを実行する使用権 (LTU) が付属します。サーバーごとに必要であり、システム上で稼働するデータベースの数には関係しません。一般的に、オンライン状態でMySQLまたはPostgreSQLアプリケーションデータ保護を行うシステムごとに、Data Protector拡張オンラインバックアップLTUが必要になります。

## シングルサーバー版

## 構成情報

Micro Focus Data Protector、 シングルサーバー版	説明	製品番号 E-Delivery
	<b>LTUのみ</b>	
E-Delivery	HP-UX用	B7020BAE
E-Delivery	Windows用	B7030BAE
	<b>スターターパックへの移行</b>	
E-Delivery	HP-UX用	B7021AAE
E-Delivery	Windows用	B7031AAE

指定プラットフォーム上でサーバー1台をバックアップする使用権が付属します。これには、無制限のUNIX/Windowsワークステーション、ドライブ1台、最大10スロットのオートチェンジャー/ライブラリの管理機能が含まれます。

Windows用シングルサーバー版では、Windowsワークステーションの管理のみが可能です。

以下の機能を利用するには、移行LTUを使用してシングルサーバー版をスターターパックに移行する必要があります。

- 任意のプラットフォーム上で稼働する追加バックアップクライアント (エージェント)
- 追加バックアップドライブ
- スロット数が10を超えるオートローダー/ライブラリの管理機能
- システムのディザスタリカバリ
- 高機能レポート (Data Protector GUI内、およびWeb経由)
- SANサポート (HP-UX用の管理サーバーを使用)
- Micro Focusソフトウェアへの統合によるサービス中心の管理

移行後は、個別のLTUを使用して追加ドライブおよび追加機能を注文できます。

移行LTUを注文するには、シングルサーバー版のLTUが必要です。

**注:** シングルサーバー版から容量ベースのライセンスモデルへのアップグレードは、サポートされていません。

## Micro Focus Data Protectorの容量ベースのライセンス

容量ティア	説明	製品番号 E-Delivery
	<b>LTUのみ</b>	
E-Delivery	DP per TB, 1-9 TB LTU	TF521AAE
E-Delivery	DP per TB, 10-49 TB LTU	TF542AAE
E-Delivery	DP per TB, 50-99 TB LTU	TF543AAE
E-Delivery	DP per TB, 100-249 TB LTU	TF544AAE
E-Delivery	DP per TB, 250-499 TB LTU	TF558AAE
E-Delivery	DP per TB, 500 TB-1 PB LTU	TF561AAE
E-Delivery	DP per TB, >1 PB	TF582AAE

## 構成情報

容量ベースのライセンス (CBL) の製品構成は、Micro Focus Data Protectorによって保護されるプライマリデータのボリュームに基づいています。容量の測定単位は、"フロントエンドテラバイト" (フロントエンドTB) です。フロントエンドテラバイトの合計数は、すべてのシステムからバックアップされるソースデータの総データ量として定義されます。システムごとに最大容量のフルバックアップとして測定されます。すなわち、バックアップされるソースデータの総データ量です。この製品構成のライセンスは恒久的で、既存または新規のインフラストラクチャーとアプリケーションをカバーしています。容量の計算の詳細は、以下のとおりです。

- フルバックアップおよび増分バックアップの場合は、フルバックアップのみが対象になります。
- 永久増分の場合は、「合成」フルバックアップを使用します。
- ステータスが「完了」または「完了 (エラーあり)」のオブジェクトのみが計算の対象になります。
- 保護されているオブジェクトのみが計算の対象になります。
- システムごとの容量は、保護されているシステムに対する各固有オブジェクトの最大サイズを集計したものと計算されます。

### 制限事項:

- 同じデータベースを複数のエージェントでバックアップする場合、バックアップは複数回カウントされます。容量が複数回カウントされるシナリオの例:
  - VSSを使用したデータベースのファイルシステムバックアップと、同じデータベースのアプリケーション統合エージェントのバックアップ。
  - 仮想マシンの仮想環境統合のバックアップと、その仮想マシン内の同じデータのファイルシステムバックアップ。
- Oracle/バックアップオブジェクト名形式が、Data Protectorがオブジェクト名からOracleデータベース名を解決できないような形で、外部で再構成される場合、固有の容量が複数回カウントされます。これを回避するには、再構成されるオブジェクト名にOracleデータベース名を含めて、「<DBID\_\*.dbf」の形式にする必要があります。

容量ベースのライセンスには、Micro Focus Data Protectorソフトウェアの以下の機能が含まれます。

- Cell ManagerおよびManager of Managers
- テープドライブおよびライブラリ
- オンラインバックアップおよびGranular Recovery Extension
- HPアレイおよび非HPアレイ用のゼロタイムバックアップおよびインスタントリカバリ
- ディスクへのアドバンスドバックアップおよびNDMP
- 拡張オンラインバックアップ

## 構成情報

次の補完製品は、別途購入できます。

- 暗号化ソフトウェア
- Micro Focus Backup Navigator
- Data Protector Management Pack
- Data Protector Smart Plug-in for Micro Focus Operations Manager

Data Protectorの容量ベースのライセンス方式の容量購入ティアは、お客様が所有しているDP容量ライセンスの合計TB数によって決まります。

- 最初の購入時に63 TBを購入する場合、ティアはMicro Focus DP per TB, 50-99 TBになります (63X TF543AAE)

購入を行うティアは、購入後に所有する合計容量によって決まります。以下は、お客様が最初に8 TBのDP容量を購入し、続いて5 TBと50 TBのDP容量を購入する場合の例です。各購入時の注文内容は、次のとおりです。

- 最初に8 TBの容量を購入するときのティアは、Micro Focus DP per TB, 1-9 TBです (8X TF521AA)
- 2回目の購入で5 TBを追加するときのティアは、Micro Focus DP per TB, 10-49 TBです (5X TF542AA)
- 次に50 TBを購入するときのティアは、Micro Focus DP per TB, 50-99 TBです (50X TF543AA)

容量ベースのライセンスのシナリオの例:

- お客様が200 TBの保護対象データを保有していて、20 TBのみを使用する重複排除ストアにバックアップを行う場合、200 TBの容量ライセンスが必要になります。
- お客様が100 TBのデータを保有していて、このデータの10 TBのみを保護する場合、必要になるのは10 TBの容量ライセンスのみです。
- お客様が同じ10 TBのデータを複数回バックアップする場合、必要になるのは10 TBの容量ライセンスのみです。

MoMでライセンスを集中管理する場合は、最低でも1 TBを各Cell Managerに割り当てる必要があります。

**注:** 1 PB = 1024 TB、1 TB = 1024 GB、1 GB = 1024 MB、1 MB = 1024 KB、1 KB = 1024バイトです。

**注:** 従来のライセンスモデルと容量ベースのライセンスモデルを同じカスタマーで使用できますが、これらのモデルを同じCell ManagerまたはMoM環境で組み合わせて使用することはできません。上記の補完製品は例外で、Data Protectorの従来のライセンスと容量ベースの両方のライセンス方法でこれらのライセンスを組み合わせることができます。従来の製品構成から容量ベースの製品構成への移行がサポートされています。詳細については、認定されたMicro Focus販売担当者までお問い合わせください。両方のライセンスモデルは、環境の規模に関係なく使用できます。

**注:** IDOL統合および統合クラウドバックアップの詳細については、Micro Focusの販売担当者までお問い合わせください。

## 構成情報

## Adaptive Backup and Recovery Suite Premium Edition

容量ベースの ティア構成	説明	製品番号 E-Delivery
	<b>LTUのみ</b>	
E-Delivery	DP per TB, 1-249 TB LTU	P8C07AAE
E-Delivery	DP per TB, 250-499 TB LTU	P8C08AAE
E-Delivery	DP per TB, 500-1 PB LTU	P8C09AAE
E-Delivery	DP per TB, >1 PB LTU	P8C10AAE
E-Delivery	DP capacity to ABR Premium (1-249 TB)	P8C04AAE
E-Delivery	DP capacity to ABR Premium (250-499 TB)	P8C05AAE
E-Delivery	DP capacity to ABR Premium (500 TB-1 PB)	P8C06AAE
E-Delivery	DP capacity to ABR Premium (1 PB+)	P8C17AAE

Adaptive Backup and Recovery (ABR) Suite Premium Editionには、Data Protectorの容量ベースのライセンスとBackup Navigatorのライセンスが含まれています。Data Protectorの容量ベースのライセンスからABR Premium Editionへのアップグレードも利用できます。

## Micro Focus Data Protectorの補完製品

Micro Focus Backup Navigator	説明	製品番号 E-Delivery
	<b>LTUのみ</b>	
E-Delivery	Micro Focus Backup Navigator per TB, 1-9 TB SW E-LTU	A8G54AAE
E-Delivery	Micro Focus Backup Navigator per TB, 10-49 TB SW E-LTU	A8G55AAE
E-Delivery	Micro Focus Backup Navigator per TB, 50-99 TB SW E-LTU	A8G56AAE
E-Delivery	Micro Focus Backup Navigator per TB, 100-249 TB SW E-LTU	A8G57AAE
E-Delivery	Micro Focus Backup Navigator per TB, 250-499 TB SW E-LTU	A8G58AAE
E-Delivery	Micro Focus Backup Navigator per TB, 500-1000 TB SW E-LTU	A8G59AAE
E-Delivery	Micro Focus Backup Navigator 1 PB+ SW E-LTU	A8G60AAE

このライセンスは、Data Protectorの従来の実装または容量ベースの実装で使用できます。Micro Focus Data Protectorによって保護されるプライマリデータのTBに応じて、LTUが1つ必要です。容量の計算は、Data Protectorの容量ベースのライセンスの場合と同じです。

E-Delivery	Micro Focus Backup Navigator Token License SW E-LTU	P8C03AAE
------------	-----------------------------------------------------	----------

このライセンスは、Data Protectorの従来の実装または容量ベースの実装で使用できます。1つのLTUが1つのトークンに対応しています。必要なトークンの数は、Data ProtectorのCell Managerにインストールされるライセンスの数量と種類に基づいています。

E-Delivery	Micro Focus Backup Navigator Single Cell Manager Upgrade LTU	H759A
------------	-----------------------------------------------------------------	-------

このライセンスは、Data Protectorの従来の実装または容量ベースの実装で使用できます。複数のData Protector Cell Managerにアップグレードし、Micro Focus Backup Navigatorの容量ライセンスでの容量拡張を可能にするには、Backup Navigator Single Cell ManagerごとにLTUが1つ必要です。H7U58AAE+H7U59AAEは、A8G55AAEの数量10に相当します。容量の計算は、Data Protectorの容量ベースのライセンスの場合と同じです。

---

## 構成情報

---

<b>DP SPI for Micro Focus Ops Mgr</b>	E-Delivery	Micro Focus DP SPI for Micro Focus Ops Manager SW E-LTU	H7U60AAE
---------------------------------------	------------	---------------------------------------------------------	----------

このライセンスは、Data Protectorの従来の実装または容量ベースの実装で使用できます。Data Protector Cell ManagerごとにLTUが1つが必要です。Micro Focus Operations Managerとの統合が含まれています。

---

<b>DP Management Pack</b>	E-Delivery	Micro Focus DP Management Pack SW E-LTU	H7P27AAE
---------------------------	------------	-----------------------------------------	----------

このライセンスは、Data Protectorの従来の実装または容量ベースの実装で使用できます。Data Protector Cell ManagerごとにLTUが1つが必要です。Microsoft System Center Operations Managerとの統合が含まれています。

---

Micro Focus Data Protectorソフトウェアに関する詳細情報

<https://software.microfocus.com/ja-jp/software/data-protector>

Micro Focus情報管理ソリューションの詳細については、次のリンクを参照してください。

<https://www.microfocus-enterprise.co.jp/products/#information-management-governance>

## 改訂の概要

日付	バージョン履歴	アクション	変更内容:
2017/12/04	バージョン61から62への更新	追加	Data Protector 10.02、Backup Navigator 9.80に関するセクションを追加
		変更	「概要」および「構成情報」を更新  タイトルを「Data Protectorソフトウェア」に変更
2017/10/02	バージョン60から61への更新	変更	Data Protector 10.01、Backup Navigator 9.70に関するセクションを追加
2017/07/11	バージョン59から60への更新	変更	Data Protector 10.0、Backup Navigator 9.60、およびStorage Optimizer 5.5に関するセクションを追加
2017/03/27	バージョン58から59への更新	変更	Data Protector 9.0.9、Backup Navigator 9.51、およびStorage Optimizer 5.4に関するセクションを追加。リストから物理SKUをすべて削除
2016/12/09	バージョン57から58への更新	変更	Backup Navigator 9.50およびトークンベースのライセンスに関するセクションを追加。また、新しいABR PremiumおよびUltimateライセンスの詳細およびStorage OptimizerのSKUを追加
2016/10/14	バージョン56から57への更新	変更	Data Protector 9.08の新機能に関するセクションを追加
2016/06/24	バージョン55から56への更新	変更	Data Protector 9.07およびBackup Navigator 9.40の新機能に関するセクションを追加
2016/04/08	バージョン54から55への更新	変更	QuickSpecsの全体的な更新
2016/01/22	バージョン53から54への更新	変更	ドキュメントの全体的な更新
2015/09/04	バージョン52から53への更新	変更	QuickSpecsの全体的な更新
2015/04/24	バージョン51から52への更新	変更	インテグレーションガイドの詳細、Backup Navigator 9.1の製品番号、容量ライセンスの説明を更新
2015/02/13	バージョン50から51への更新	変更	「ライセンス、サービス、および保証」セクションの更新
2015/01/16	バージョン49から50への更新	変更	QuickSpecsの全体的な更新
2014/08/04	バージョン48から49への更新	変更	QuickSpecsの全体的な更新
2014/05/09	バージョン47から48への更新	変更	HPEソフトウェアサポートを更新
2014/01/17	バージョン46から47への更新	変更	「概要」の「製品の主な特長」、「ソフトウェアライセンス」、および「構成情報」セクションを更新
2013/09/01	バージョン45から46への更新	変更	メディアで入手可能な国を更新
2013/06/10	バージョン44から45への更新	変更	QuickSpecsの全体的な更新
2012/12/04	バージョン43から44への更新	変更	「概要」、「インストールサーバーおよびクライアントシステム要件」、および「構成」の変更
2012/10/24	バージョン42から43への更新	変更	QuickSpecsの全体的な更新
2012/09/14	バージョン41から42への更新	変更	「構成情報」セクションを更新
2012/08/26	バージョン40から41への更新	変更	QuickSpecsの全体的な更新
2012/06/29	バージョン39から40への更新	変更	「インストールサーバーおよびクライアントシステム要件」、および「構成」セクションの変更
2012/05/11	バージョン38から39への更新	変更	QuickSpecsの全体的な更新
2011/12/21	バージョン37から38への更新	変更	QuickSpecsの全体的な更新
2011/09/07	バージョン36から37への更新	変更	「構成」セクションの手順3の細部を修正
2011/06/24	バージョン35から36への更新	変更	全体を通じて細部を修正
2011/06/09	バージョン34から35への更新	削除	StorageWorksの関する記述を削除
2011/06/02	バージョン33から34への更新	削除	手順3の重複テキストを削除
2011/04/08	バージョン32から33への更新	変更	全体的な更新
2010/07/09	バージョン31から32への更新	変更	QuickSpecsの全体的な更新 (Data Protectorのバージョン6.11への変更、構成情報の全面的更新、およびGranular Recoveryに関する記述の追加を含む)
2010/03/26	バージョン30から31への更新	追加	「詳細は、www.hpe.com/imをご覧ください」を著作権に追加

## 改訂の概要

2009/10/16	バージョン29から30への更新	変更	「ライセンス、サービス、および保証」セクションの「HPサービス: スケーラビリティ、柔軟性、および信頼性」を更新し、「構成情報」セクションの手順3を更新
2009/06/12	バージョン28から29への更新	変更	「ハードウェアおよびソフトウェアの前提条件」セクションのソフトウェアの前提条件で、HP-UX (PA-RISC) およびHP-UX (IA64) のバージョン番号を更新  「ライセンス、サービス、および保証」セクションのソフトウェア保証のリンクを変更  「構成情報」セクションのHP Data Protectorシングルサーバー版で、HP-UX、Sun Solaris、およびWindows用の製品番号を更新  「ライセンス、サービス、および保証」セクションのソフトウェアサポートで、HP Software Support 9x5からライセンス履歴を削除し、HP Software Support 24x7に最も重大な(重大度1)の問題に対する迅速なコールバックを追加  「ライセンス、サービス、および保証」セクションの「HPサービス: スケーラビリティ、柔軟性、および信頼性」からリンクを削除
2009/04/03	バージョン27から28への更新	変更	「構成」セクションの手順3でHP Data Protectorオンラインバックアップ使用権およびHP Data Protectorアドバンスドバックアップ使用権を更新し、「お客様のメリット」セクションでビジネスの問題とお客様のメリットを削除
2009/01/09	バージョン26から27への更新	追加	「ライセンス、サービス、および保証」セクションのHPソフトウェアサポートの注釈
2008/12/29	バージョン25から26への更新	変更	QuickSpecsの全体的な更新(「アプリケーションプラットフォーム」セクションを除く)
2008/06/27	バージョン24から25への更新	追加	「ライセンス、サービス、および保証/ソフトウェア製品サポート」セクションに注釈を追加
		変更	QuickSpecsの全体を通じた細部の語法および書式変更
2008/01/25	バージョン23から24への更新	変更	「HP Data Protector Software」のタイトルおよび表記を「HP Data Protector ソフトウェア」に変更
2007/09/07	バージョン22から23への更新	変更	「新機能」セクションおよび「構成情報」セクションの手順2の変更
2007/07/13	バージョン21から22への更新	変更	「構成情報」セクション内のみの更新
2007/06/19	バージョン20から21への更新	変更	QuickSpecsの全体的な更新(「アプリケーションプラットフォーム」セクションを除く)
2007/06/11	バージョン19から20への更新	追加	EMEAバージョンの追加
2007/04/13	バージョン18から19への更新	変更	「構成情報」セクションの手順2の書式変更
2007/02/12	バージョン17から18への更新	変更	QuickSpecsの全体的な更新(「ハードウェアサポート」と「アプリケーションプラットフォーム」セクションを除く) タイトルが変更されていることに注意
2006/11/24	バージョン16から17への更新	変更	ソフトウェア製品サポートオブジェクトのURLを変更  HP OpenView Storage Data Protector Backup DriveのWindows、NetWare、Linux用製品番号を修正

## 改訂の概要

2006/11/13	バージョン15から16への更新	変更	「新機能」セクションの更新および「構成情報」セクションの改訂
2006/09/01	バージョン14から15への更新	変更	「新機能」セクションおよび「構成情報」セクションの手順1の更新
2006/06/02	バージョン13から14への更新	変更	「構成情報」セクションの手順1および3の更新
		追加	「構成情報」セクションへの注釈の追加
2006/05/05	バージョン12から13への更新	変更	「構成情報」セクションの手順3で、"cannot"から"not"を削除
2006/04/24	バージョン11から12への更新	変更	QuickSpecsの全体的な改訂
2005/08/01	バージョン10から11への更新	変更	「構成情報」セクションの手順3のURLの修正
2005/01/14	バージョン9から10への更新	変更	細部の表現の修正
2004/11/03	バージョン8から9への更新	変更	細部の表現の修正
2004/11/01	バージョン7から8への更新	変更	QuickSpecsの全体的な更新
2004/06/23	バージョン6から7への更新	変更	「Application Platforms (アプリケーションプラットフォーム)」の「Backup Agents (バックアップエージェント)」セクションの変更のみ
2004/02/24	バージョン5から6への更新	削除	Data ProtectorのモデルのセクションからEVAモデルの記述を削除
2003/10/09	バージョン4から5への更新	変更	構成情報
2003/09/30	バージョン3から4への更新	変更	QuickSpecsのすべてのセクションに、この発表の変更を適用。タイトルも変更されていることに注意してください。  モデルおよび構成情報: Cell Managerをスターターパックに変更
2003/08/25	バージョン2から3への更新	変更	ドキュメントの書式変更
2003/07/23	バージョン1から2への更新	変更	2つのURLを追加

マイクロフォーカスエンタープライズ株式会社

jp-info-enterprise@microfocus.com

www.microfocus-enterprise.co.jp